

## 第2学年 道徳学習指導案

日 時：平成29年9月29日（金）5校時

児 童：第2学年

指導者：

1 主題名 友だちっていいな 【B－（9）友情・信頼】

2 資料名 きれいな羽（学研）

3 主題設定の理由

### （1）価値について

低学年の内容項目B「主として人との関わりに関すること」の（9）に「友達と仲よくし、助け合うこと。」とある。これは、友達との間に信頼と友情及び助け合いの精神をもった児童を育てようとする内容項目である。

この内容項目は、中学年の内容項目B（9）「友達と互いに理解し、信頼し、助け合うこと。」、高学年の内容項目B（10）「友達と互いに信頼し、学び合って友情を深め、異性についても理解しながら、人間関係を築いていくこと。」、中学校の内容項目B（8）「友情の尊さを理解して心から信頼できる友達をもち、互いに励まし合い、高め合うとともに、異性についての理解を深め、悩みや葛藤も経験しながら人間関係を深めていくこと。」に発展していくものである。

望ましい人間関係は、人と人との豊かな関わり合いの中で、互いに信頼することで成り立っている。よい友情関係を築くためには、自分と異なる立場の相手を思いやって、互いに認め合い、助け合うことが大切である。

この時期の子ども達は、幼児期の自己中心性から十分に脱しておらず、友達の立場を理解したり自分と異なる考えを受け入れたりすることが難しいことも少なくない。しかし、学級での生活を共にしながら一緒に勉強したり、仲よく遊んだり、困っている友達のことを心配し、助け合ったりする経験を積み重ねることで、友達のよさをより強く感じるようになると思う。

以上のことから、友達と一緒に活動して楽しかったことや友達と助け合ってよかったことを考えさせながら、友達と仲よくする大切さを育てていくことは、大変意義深いことであると思う。

### （2）児童について

2年生の児童は、大変素直でまじめであり、何事にも一生懸命に取り組むことができる。学級では、目標の達成のためお互いに声をかけ合ったり励まし合ったりしながら生活している。また、帰りの会では、自分が優しくされたことや友達が優しくしていたことについて発表しあう等、日頃から友達のよいところを見つけたり、認めたりすることができる。しかし、グループ学習等で活動する際には、自分の意見を通したいという思いの強さからグループの話し合いがまとまらなかつたり、協力して活動できなかつたりする場面も見られる。また、友達なら自分がしてほしいことを何でもしてもらえと思っている児童もいる。

これらの実態から、本当の友達とは何かを考え、友達の考えを理解し仲よくすることの大切さや、協力することのよさを味わわせたい。そして、自分と異なる立場の相手を思いやって、互いに認め合い、助け合うことができる児童を育てていきたいと考える。

### （3）資料について

資料「きれいな羽」の内容は、次のとおりである。

森の学校に美しい羽を持つくじゃくが転校してきた。はじめはその美しい羽に興味をもっていた仲間も、得意満面のくじゃくから次第に離れていく。しかし、遠足をきっかけに、くじゃくも仲間も助け合うことや友達と仲よくすることの大切さに気付く。

本資料は、くじゃくが友達と助け合ったり仲よくしたりすることのよさに気付いていく心の変化や、くじゃくを助けてあげようとする友達の心の変化を捉えやすい資料である。くじゃく、森の仲間たちそれぞれの心情や行動を共感的に考えることを通して、学校生活を共に過ごす友達の存在について考え、友達と仲よく活動し、互いに認め合い、助け合うことの大切さについて考えさせ、ねらいとする価値に迫っていきたい。

(4) 他の教育活動などとの関連

児童は、1学期に1年生を迎える会や運動会などの学校行事を通して、友達と話し合ったり協力したりしながら活動してきた。道徳においては本時の授業を通して、友達と互いに認め合い、助け合っていこうとする心情を育て、2学期の学級活動や学習発表会等の学校行事での活動へ繋げていきたい。さらに資料『こまのプレゼント』（学研）を10月に計画しており、友達のよいところに向けて、互いに助け合うことの大切さを理解し、どんな場面でも友達と仲よくしようとする気持ちを育てていきたいと考える。

4 資料分析図

主要場面	心の動き	気付かせたいこと	主な発問
<p>きれいな羽を持ったくじゃくが転校してきた。</p> <p>くじゃくは、きれいな羽があれば、いつでも友達ができると得意になっていたが、しばらく経つと誰も寄って来なくなった。</p>	<p><b>くじゃく</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>きれいな羽があれば人気者になれるぞ。</li> <li>きれいな羽があるのに、どうしても友達になってくれないのだろう。</li> </ul> <p><b>みんな</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>きれいな羽だな。</li> <li>言うことを聞かなければいけないのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>くじゃくは、きれいな羽があれば、すぐに友だちができると思っている。</li> <li>くじゃくは、だれもよってこなくなった理由が分からない。</li> <li>きれいな羽は見たいけれど、そのためにくじゃくのいうことを聞くのはへんだ。</li> </ul>	<p>○ どうして、くじゃくのそばにはだれもいなくなってしまうのだろうか。</p>
<p>遠足で、くじゃくが先頭の役目を頼まれた。</p> <p>先頭は大忙しだったが、くじゃくはみんなのために頑張った。</p> <p>一生懸命なくじゃくの姿を見て、くまさんやきつねさんがくじゃくの仕事を手伝った。</p>	<p><b>くじゃく</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>しっかり役目を果たさなきゃ。</li> <li>一生懸命だとみんなが助けてくれるんだな。</li> </ul> <p><b>みんな</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>みんなのために頑張ってくれているから協力しよう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>くじゃくは、みんなのために一生懸命頑張っている。</li> <li>みんなのために一生懸命頑張っているから、みんなも助けてくれたことに気付いた。</li> <li>くじゃくの頑張る姿を見て、みんなも協力した。</li> </ul>	<p>◎ どうして、くまさんやきつねさんは、くじゃくを助けようと思ったのだろうか。</p>
<p>疲れて羽がよれよれになってしまったけれど、仲間にも困られたくじゃくは、笑顔でみんなにお礼を言った。</p>	<p><b>くじゃく</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>みんなのおかげでやり遂げることができたよ。</li> <li>羽はよれよれだけれど、いい気持ちだな。</li> </ul> <p><b>みんな</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>くじゃくさんありがとう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自慢の羽がよれよれになってしまったが、仲間にも困られたくじゃくは、笑顔でお礼を言っている。</li> <li>みんなもくじゃくに感謝している。</li> </ul>	<p>○ 「楽しい遠足」の後、くじゃくやみんなはどんな気持ちだったのだろうか。</p>

5 本時の指導

(1) ねらい

遠足でのくじゃくの頑張りと、その様子を見てくじゃくを助ける森の仲間たちの行動を通して、学校生活を共に過ごす友達の存在について考えさせ、友達と仲よく活動し、互いに認め合い、助け合っていこうとする心情を育てる。


(2) 展開の概要

段階	学習活動と主な発問 (○)	期待する児童の反応 (・)	指導上の留意点 (*)
気づく 3分	<p>1 友達とはどんな存在かを考える。</p> <p>○みなさんは、友達になりたいと思ったときに、何をしますか。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">友だちになるために、何がたいせつなのだろうか。</div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・挨拶をする。</li> <li>・声をかけてお話をする。</li> <li>・一緒に遊ぶ。</li> <li>・何かプレゼントする。</li> </ul>	<p>* 普段の生活を振り返り、「友達になりたい」と思ったときにどんな行動をとるか、考える。</p>
深める	<p>2 資料「きれいな羽」を読んで話し合う。</p> <p>○どうして、くじゃくのそばにはだれもいなくなってしまったのでしょうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・羽さえあれば、友達ができると思っているから。</li> <li>・くじゃくの言うことを聞かないと、羽を見せてもらえないから。</li> <li>・羽はきれいだけど、威張っているみたいだから。</li> </ul>	<p>*きれいな羽さえあればみんなが友達になってくれると思っていてくじゃくの気持ちと、それをよく思っていないみんなの気持ちに気付かせる。</p>
	<p>◎どうして、くまさんやきつねさんは、くじゃくを助けてくれたのだろう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・みんなのために先頭の仕事を頑張ろう。</li> <li>・助けてくれてありがとう。頑張れば困ったときに助けてくれるんだな。</li> <li>・くじゃくくんは、みんなのために頑張っているな。</li> <li>・頑張っているけど忙しそうだな。助けてあげよう。</li> </ul>	<p>*みんなのために頑張るくじゃくの様子と、それを見て、くじゃくを助けてあげようと思ったみんなの気持ちに気付かせる。</p>
20分	<p>○「楽しい遠足」の後、くじゃくやみんなはどんな気持ちだったのだろう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ありがとう。</li> <li>・手伝ってくれたから、やり遂げることができたよ。</li> <li>・助け合ってすてきだな。</li> <li>・羽はよれよれになったけど、なんだかいい気持ちだな。</li> <li>・くじゃくのおかげで楽しい遠足になったよ。</li> <li>・これで仲良くなることができたな。</li> </ul>	<p>*自慢の羽がよれよれになっているのに、くじゃくが笑顔でお礼を言っていることに気付かせる。</p> <p>*みんなもくじゃくの頑張りに気づき、感謝していることに気付かせる。</p>

つ か む  7 分	<p>3 本時の価値について話し合う。</p> <p>○友達になるために、何が大切だと思いますか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・困っているときに、助けたり協力したりする。</li> <li>・相手の気持ちを考える。</li> </ul>	<p>*友達になるために、大切だと思うことをワークシートに書き、発表させる。</p>
<p>あいてのことを考えて、たすけ合ったりきょうりよくしたりすること。</p>			
広 げ る  12 分	<p>4 自分の生活について振り返る。</p> <p>○みなさんは、友達とどのように生活していきたいと思えますか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・困っていたら助けてあげたい。</li> <li>・悩みを聞いてあげたい。</li> <li>・行事や学級の仕事に、協力して取り組みたい。</li> </ul>	<p>*これまでの生活を振り返り、これから自分は友達とどのように接していきたいと思うか、ワークシートに記入し、交流する。</p>
ま と め る  3 分	<p>5 教師の説話を聞く。</p>		<p>*子どもたちが、協力したり励まし合ったりしながら取り組んでいる活動について話す。</p>


(3) 板書計画

あいてのことを考えて、たすけ合ったりきょうりよくしたりすること。



- ・みんなのおかげだよ。
- ・ありがとう。
- ・がんばってよかったな。

「おかげで楽しい遠足になったよ。」



「きれいな羽」

友だちになるために、何がたいせつなのだろうか。

なかよくなれたね

遠足 先とうのやく目

- ・いそがしいなあ。
- ・みんなのためにがんばろう。
- ・たすけてくれてありがとう。

この羽があればすぐ友だちができるぞ。

- ・どうしてだれもそばにきてくれないのかな。

「きれいな羽」

- ・言うことを聞かなければいけないのか。
- ・いばっているみたいだな。

くじやくくんがんばっているな。

先とうは大へんそうだな。

手っだってあげよう。

